

2011年度(2012年3月期)
第2四半期累計決算説明会



(証券コード:6787)

2011年11月24日

注意事項

本資料には過去の事実以外に今後の業績見通し等の計画・戦略が含まれますが、本資料は金融商品取引法の開示情報ではありません。

これらの見通しは過去の事実ではなく、現時点で当社が把握できる情報で判断した想定及び所見で作成した見通しです。

特に電子回路基板業界では原材料価格の変化、多様な顧客市場動向、技術動向の変化、為替変化、税制・諸制度の変更、自然災害、国際紛争、その他、様々なリスク・不確実性があり、実際の実績は見通しと異なることがございます。

1. 2011年度 中間決算概要

	Page
1－ 1. 1Q/2Q営業の概況	3
1－ 2. 福島工場・宮城工場の現状	4
1－ 3. 1Q/2Q連結決算（2010年度・2011年度）	5
1－ 4. 1Q/2Q単独決算（2010年度・2011年度）	6
1－ 5. 主な関連部門決算（広州・武漢・山形）	7
1－ 6. 事業種類別 売上高	8
1－ 7. 電子回路基板 商品・品目別 売上高	9

1-1 1Q/2Q 営業の概況

連結実績

■売上高	32,320百万円	前年同期比 - 15.8%
■営業利益	448百万円	前年同期比 - 77.7%

プラス要因(前年同期比)

■なし

マイナス要因(前年同期比)

- 大震災(津波・原発)による宮城工場・福島工場の生産停止
- 東日本大震災・原発問題による受注減・生産移管ロス
- 円高・元高による影響、原材料高騰、中国労務費上昇

1-2 福島工場・宮城工場の現状

* 福島工場の現状

7月より操業開始

フル操業の70%程度まで回復

(東京電力福島原発より一番近い操業工場)

* 宮城工場の現状

瓦礫の整備完了・被災設備の撤去完了

まだ具体的な再建計画はない

1-3 1Q/2Q 連結決算

(単位:百万円)

	2010年度	前年比	2011年度	前年比
売上高	38,375	14.0%	32,320	-15.8%
営業利益	2,009	29.4%	448	-77.7%
営業利益率	5.2%		1.4%	
経常利益	1,289	15.3%	-1,021	-
経常利益率	3.4%		-3.2%	
当期純利益	873	12.2%	-828	-
当期純利益率	2.3%		-2.6%	
1株当り当期純利益	47.32円		-44.15円	

1-4 1Q/2Q 单独決算

(単位:百万円)

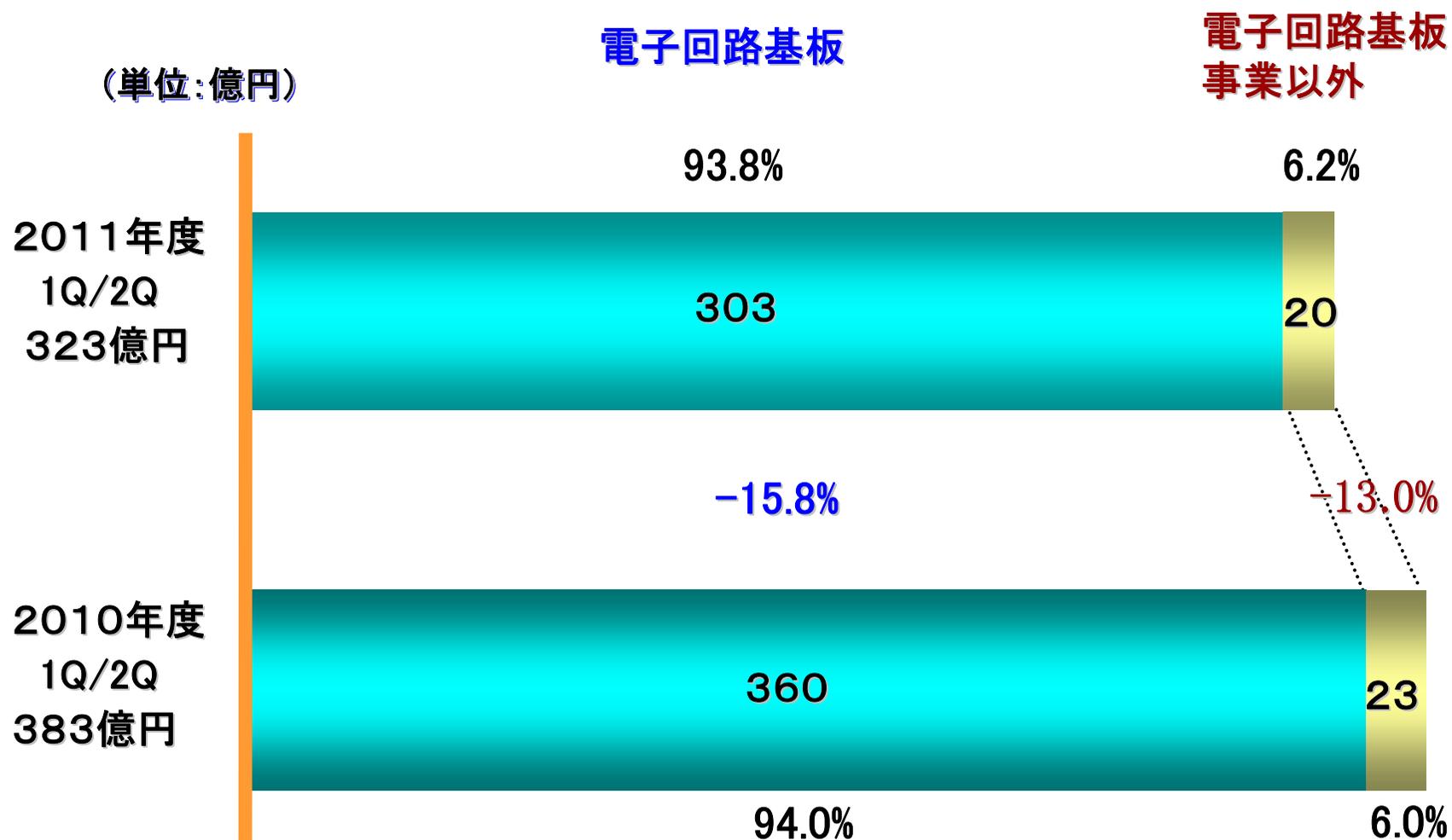
	2010年度	前年比	2011年度	前年比
売上高	23,498	16.0%	17,001	-27.6%
営業利益	1,115	367.0%	1,264	13.3%
営業利益率	4.7%		7.4%	
経常利益	508	226.3%	-317	-
経常利益率	2.2%		-1.9%	
当期純利益	501	311.5%	106	-78.9%
当期純利益率	2.1%		0.6%	
1株当り当期純利益	27.19		5.68	

1-5 主な関連部門1Q/2Q 決算

(単位:百万円)

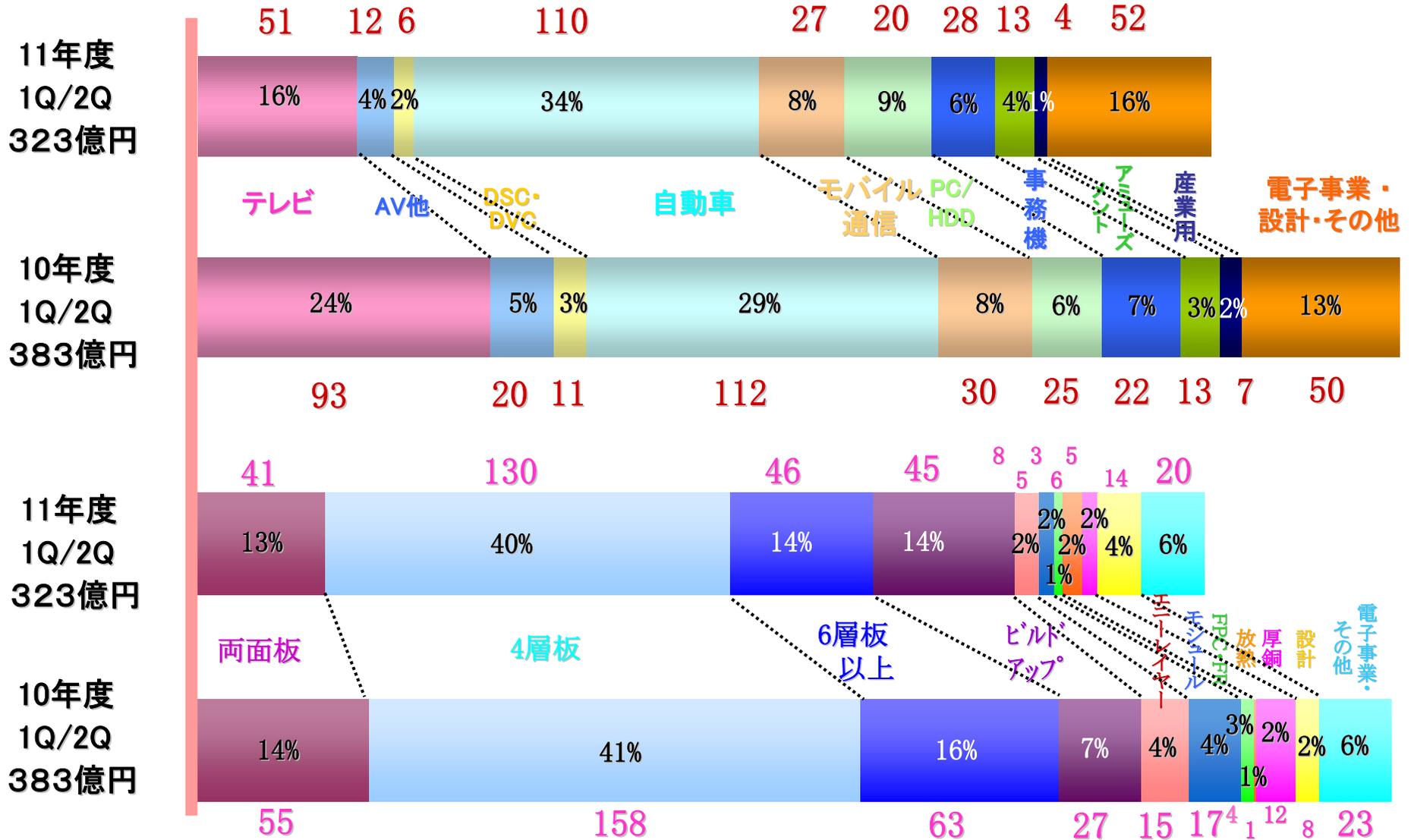
主要工場		2010年度	前年比	2011年度	前年比
広 州	売上高	16,172	18.0%	13,725	-15.1%
	営業利益	1,132	-11.8%	-19	-101.7%
	営業利益率	7.0%		-0.1%	
武 漢	売上高	13,020	27.4%	11,584	-11.0%
	営業利益	1,125	-38.1%	579	-48.5%
	営業利益率	8.6%		5.0%	
山 形	売上高	3,221	-4.5%	3,683	14.3%
	営業利益	-38	55.2%	161	423.7%
	営業利益率	-1.2%		4.4%	

1-6 事業の種類別 1Q/2Q 売上高



1-7 商品・品目別 1Q/2Q 売上高

(単位:億円)



2. 2011年度の通期見通し

	Page
2-1. タイ洪水の影響	11
2-2. 武漢第2工場操業停止	12
2-3. 武漢第2工場現状対応	13
2-4. 当期の取り組み	14
2-5. 連結決算 見通し	15
2-6. 単独決算 見通し	16

2-1 タイ洪水による影響

* 弊社の直接的被害

弊社への直接的な被害はないが、下記の要因で受注増減が発生。

1. 弊社顧客に与える影響

直接被災されたお客様と一部の半導体・その他部品メーカーが被災し、その影響でお客様の生産対応が短期的に出来ず、弊社への受注も減少している

2. 同業(PCB)他社に与える影響

タイの同業他社で一部被災があり、弊社への発注比率(車載、HDD?)が上がる可能性も一部ある

3. 現行顧客以外に与える影響

半導体・部品・顧客の被災により生産を日本に戻す、部品を変更する等のケースが多発しており、弊社国内への設計変更や生産支援の依頼が多数来ている

2-2 武漢第2工場の操業停止

当社連結子会社の業務一部停止に関するお知らせ

記

当社連結子会社である名幸電子（武漢）有限公司の第二工場（スマートフォン向け基板専用工場）は、環境アセスメントに係る許認可手続きの問題により武漢市の指導のもと、平成 23 年 10 月 18 日より操業を停止いたしました。

名幸電子（武漢）有限公司は、本年 8 月より第二工場の本格稼働を開始いたしました。環境アセスメントに係る許認可手続きに不備があり、武漢市より指導がありました。これを受け平成 23 年 10 月 18 日より第二工場の操業を停止したものであります。現在武漢市の指導のもと是正措置を実施中ですが、是正措置が完了し次第操業を再開する予定です。

当社は、今般の手続き不備を重く受け止めるとともに、関係各位に多大なご迷惑をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。なお、スマートフォン向け基板以外への影響はございません。

2-3 武漢第2工場現状対応

- * **第二工場の現状**
再開に向けて中国関係機関と調整中

- * **スマートフォン用10層Anylayer 基板**
現在顧客と出荷再開に関して調整中

- * **TV用アルミ放熱基板**
武漢第1工場生産対応中

2-4 当期の取り組み

- ☆海外事業
 - ・ベトナム工場の早期立上
 - ・武漢第二工場の早期再開
 - ・中国工場からベトナム工場への生産移管準備
 - ・中国生産品による国内市場開拓
- ☆国内事業
 - ・国内売上のアップ
新規基板・高付加価値品の投入
- ☆仕入部門
 - ・国際相場・受注関係を受け、仕入単価ダウンを強力に進める

2-5 連結決算 見通し

想定レート:76.0円/US\$ 6.25RMB/US\$

(単位:百万円)

	2009年度	前年比	2010年度	前年比	2011年度	前年比
売上高	69,823	-7.9%	74,724	7.0%	63,000	-15.7%
営業利益	3,793	115.5%	3,297	-13.1%	700	-78.8%
営業利益率	5.4%		4.4%		1.1%	
経常利益	2,695	182.6%	2,127	21.1%	-1,100	
経常利益率	3.9%		2.8%		-1.7%	
当期純利益	1,828	250.0%	-3,094	-	-800	-
当期純利益率	2.6%		-4.1%		-1.3%	
1株当り当期純利益	107.39円		-166.32円		-42.61円	

2-6 単独決算 見通し

想定レート:76.0円/US\$ 6.25RMB/US\$

(単位:百万円)

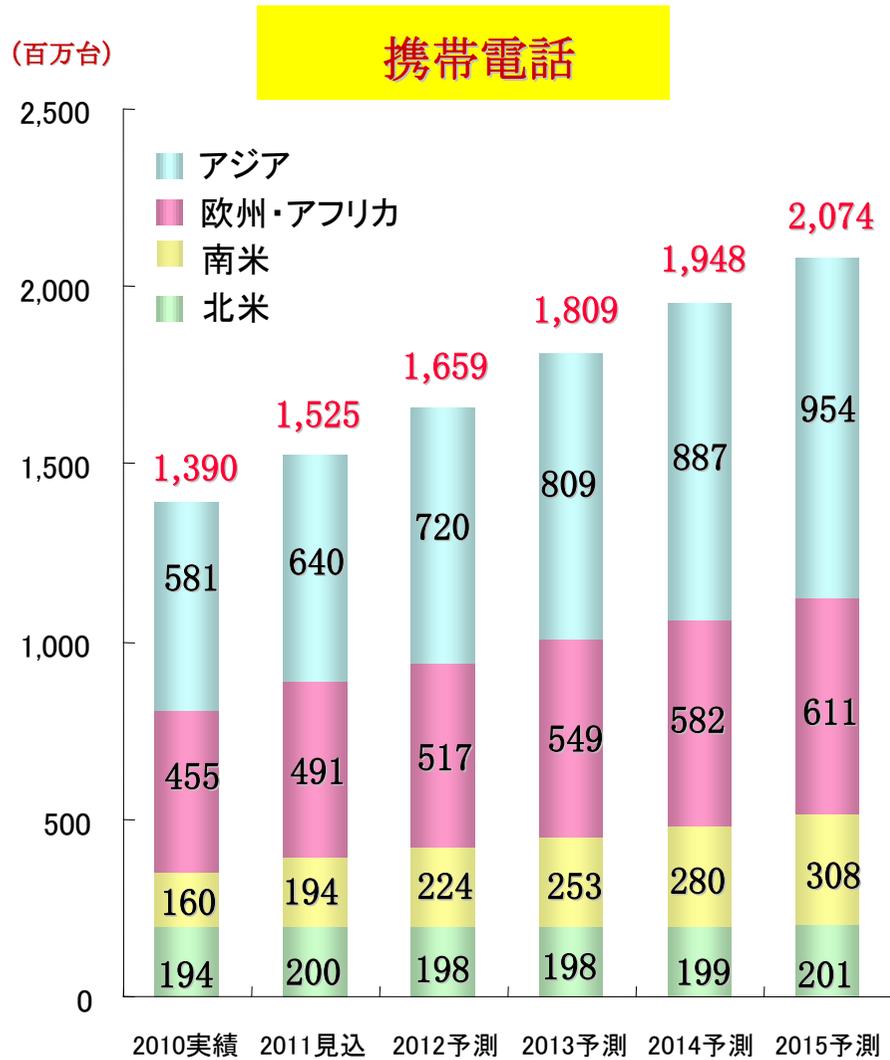
	2009年度	前年比	2010年度	前年比	2011年度	前年比
売上高	43,135	-2.1%	44,634	3.5%	33,100	-25.8%
営業利益	370	-49.4%	2,661	619.1%	2,300	-13.6%
営業利益率	0.9%		6.0%		6.9%	
経常利益	841	-38.1%	1,822	116.5%	800	-56.1%
経常利益率	1.9%		4.1%		2.4%	
当期純利益	-777		-2,909	-	1,700	-
当期純利益率	-1.8%		-6.5%		5.1%	
1株当り当期純利益	-45.65円		-156.35円		90.55円	

3. 市場動向

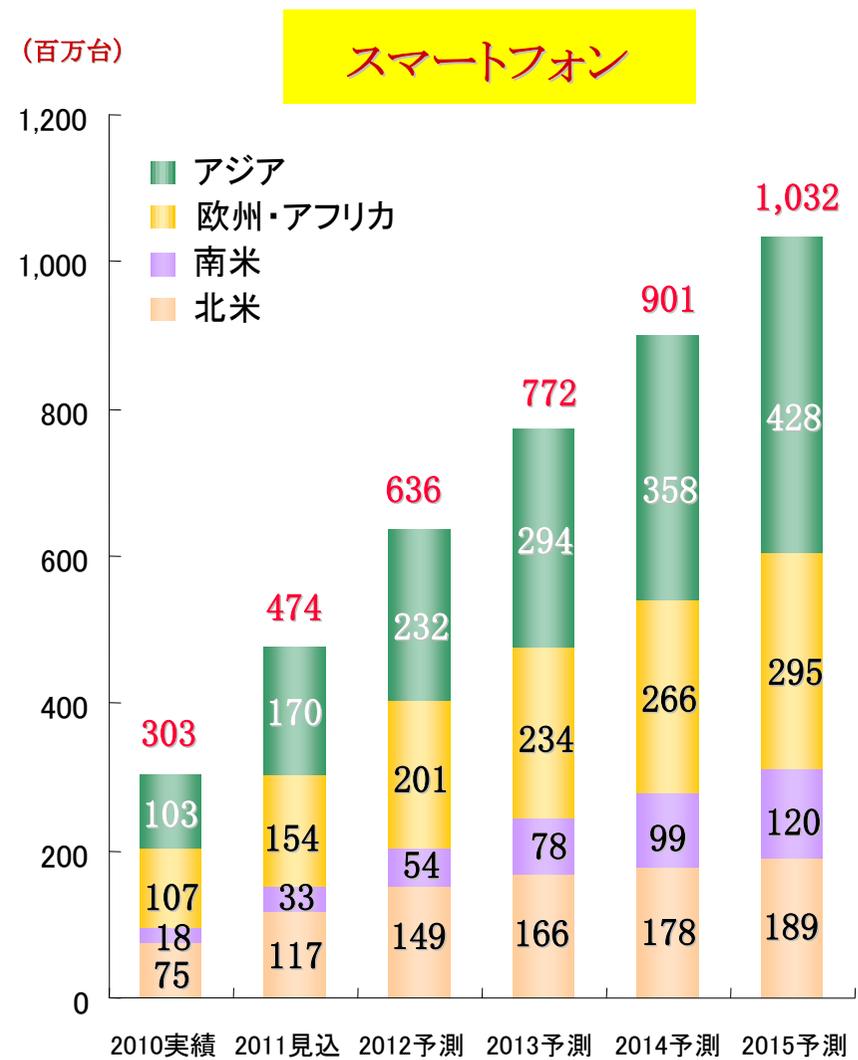
	Page
3- 1. 世界市場(1)携帯電話、スマートフォン	18
3- 2. 世界市場(2)PC	19
3- 3. 世界市場(3)TV	20
3- 4. 世界市場(4)HDD、エコカー	21

3-1 世界市場出荷台数(1)

※スマートフォンの出荷台数は携帯電話の内数です

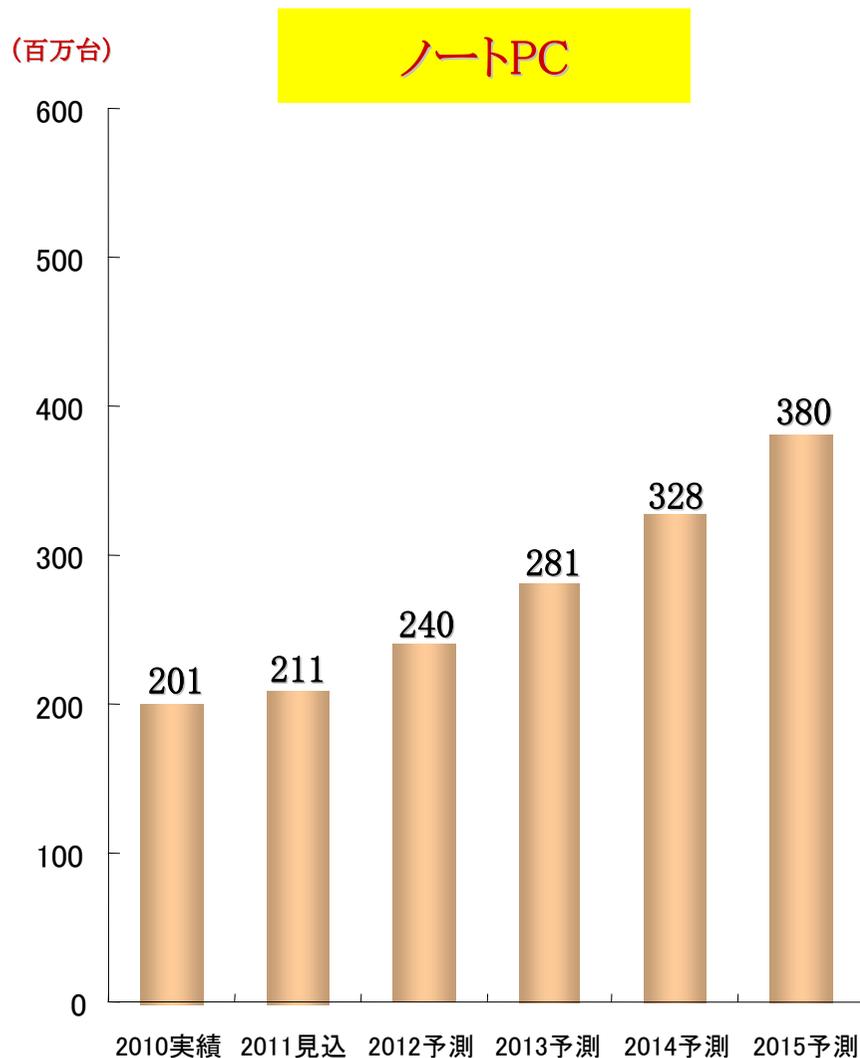


(出典:大和証券CM 2011.10)

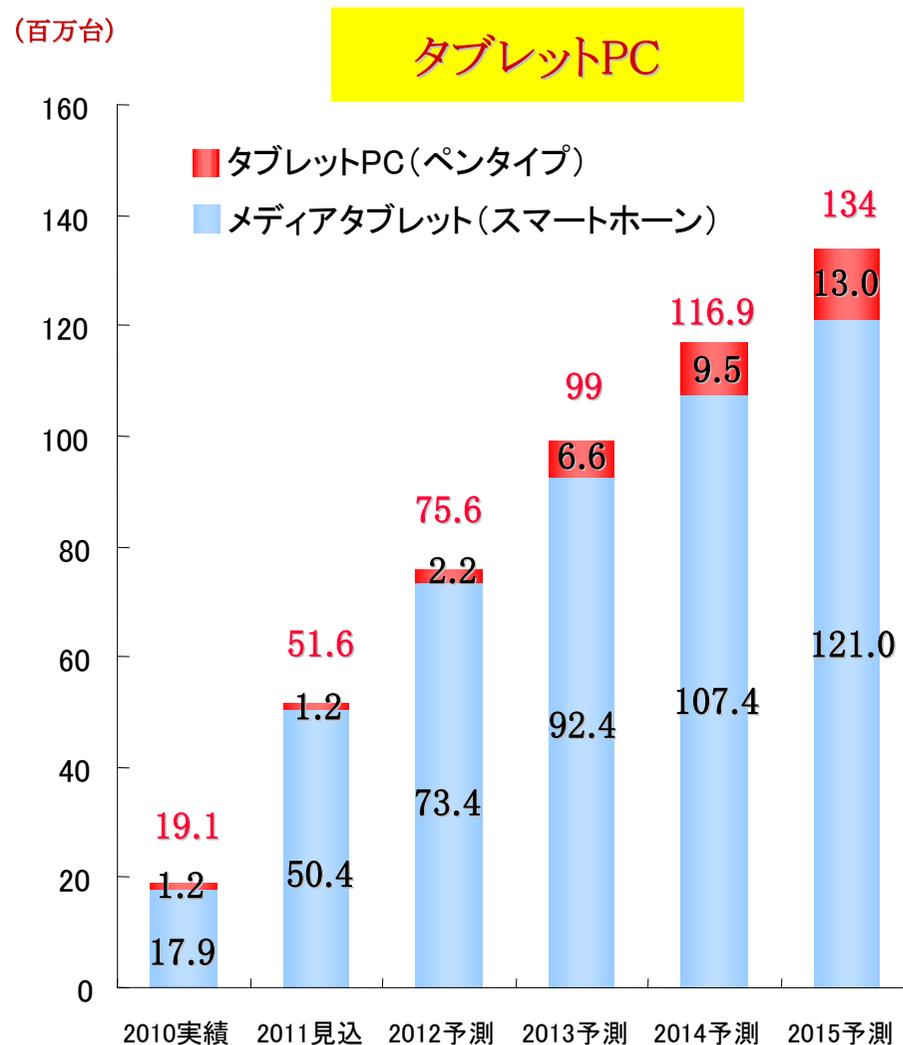


(出典:大和証券CM 2011.10)

3-2 世界市場出荷台数(2)

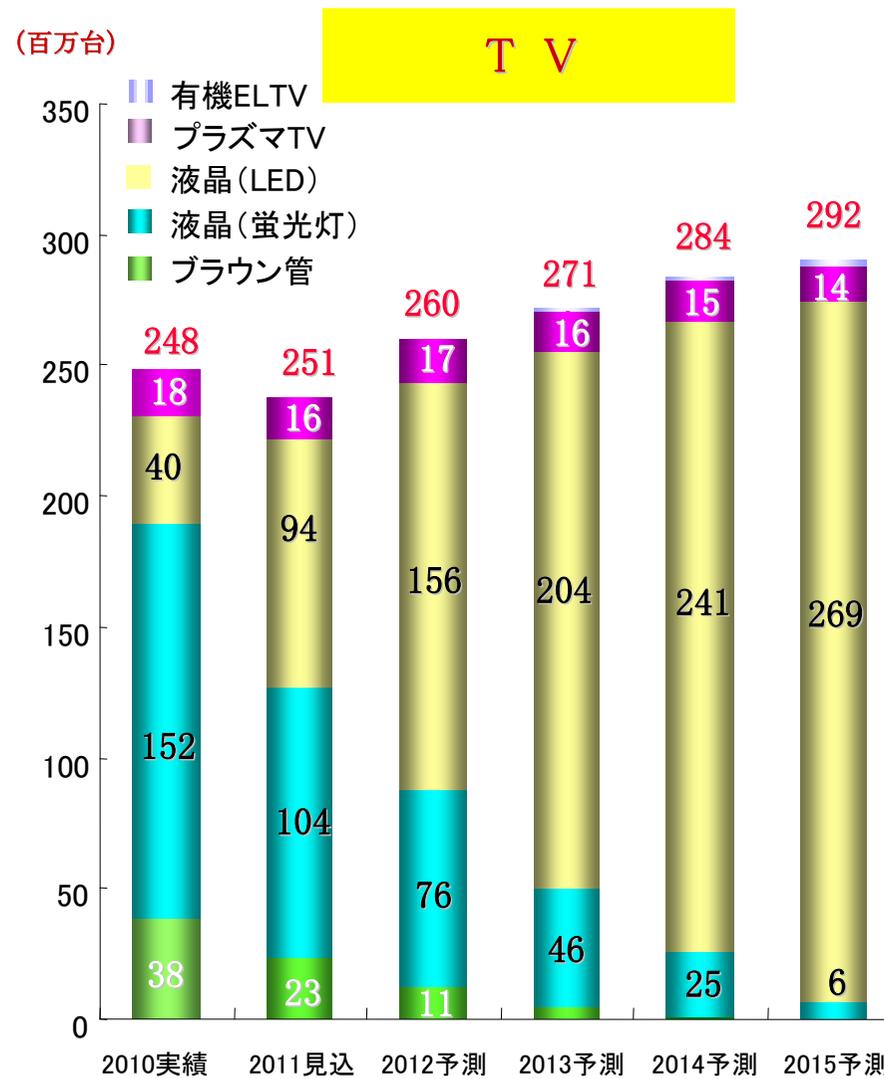


(出典:大和証券CM 2011.10)



(出典:大和証券CM 2011.10)

3-3 世界市場出荷台数(3)

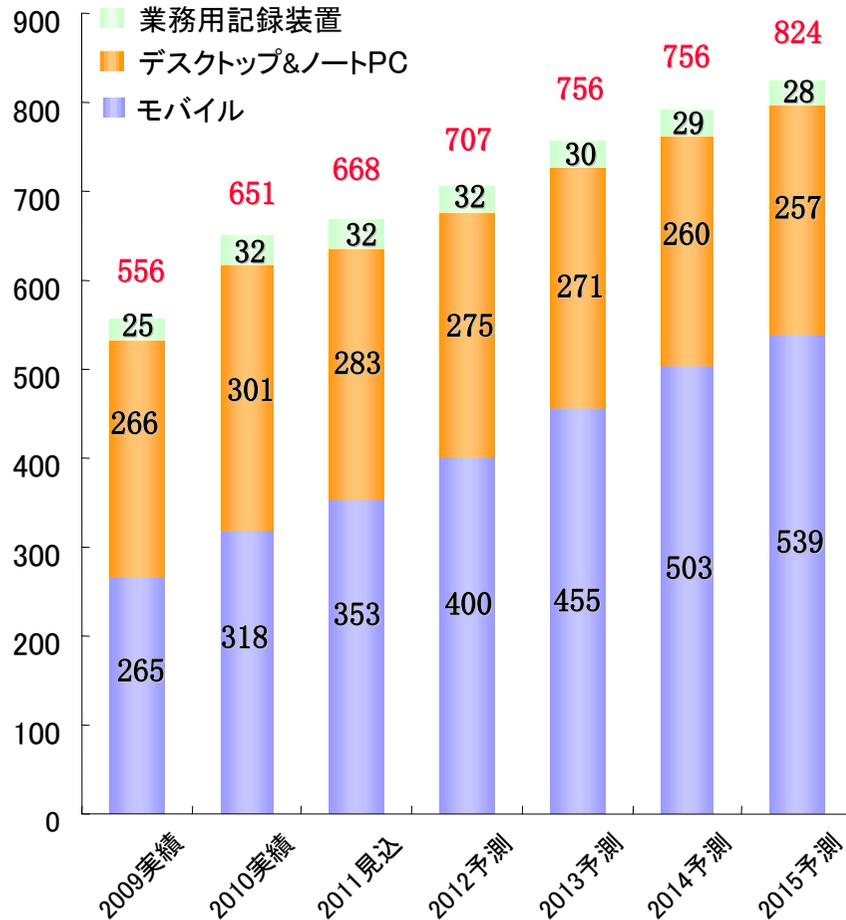


(出典:大和証券CM 2011.10 , EMデータサービス2011.11.14)

3-4 世界市場出荷台数(4)

HDD

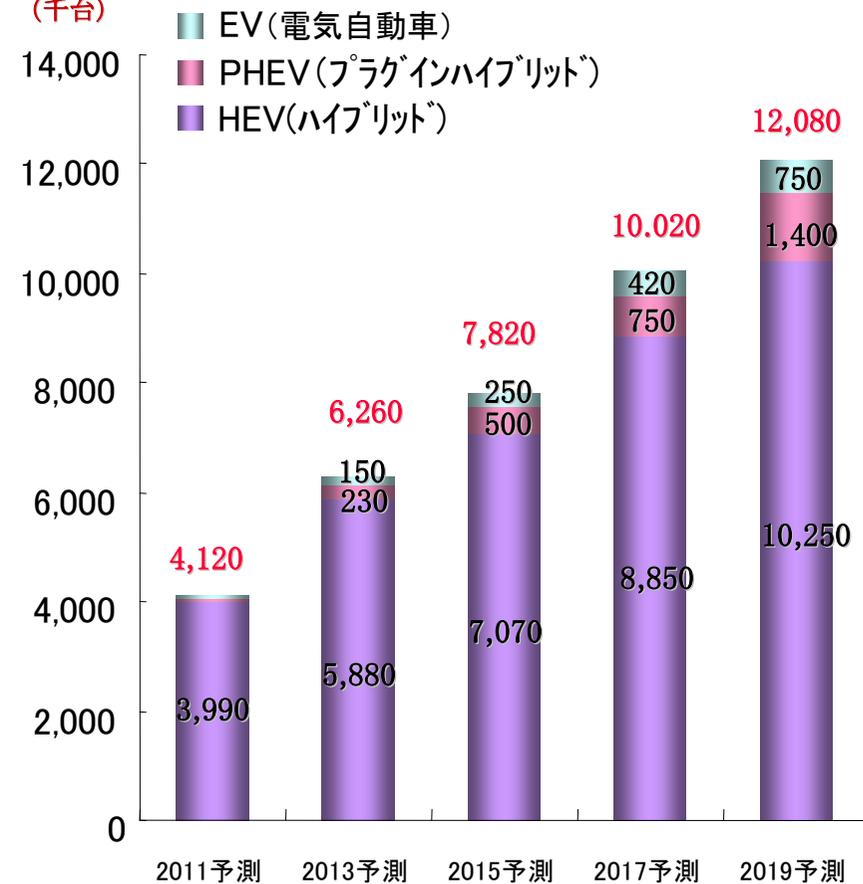
(百万台)



(出典:大和証券CM 2011.10)

エコカー

(千台)



(出典: 野村総研 2010.3)

4. 今後の展望

	Page
4- 1. 来期以降の重点戦略	23
4- 2. 武漢工場 来期計画	24
4- 3. 広州工場 来期計画	25
4- 4. ベトナム工場 直近状況	26

4-1 来期以降の重点戦略

- ☆生産戦略
 - ・中国生産のリスク低減
 - ・設備移管によるベトナム工場の
垂直立上、基幹工場化の加速
- ☆営業戦略
 - ・海外顧客（欧州・東アジア・アセアン・米州）
の拡大
- ☆国内事業
 - ・海外生産品による国内市場開拓
 - ・新規開発基板・高付加価値品の投入

4-2 武漢工場 来期計画

- ☆第1工場 TV中心工場からの脱却
広州工場より一部生産品の移管
構造改革、新規市場への参入
- ☆第2工場 スマートフォン用ビルトアップ基板・大電流基板
放熱基板の生産拡大
- ☆一部設備のベトナム工場への移設



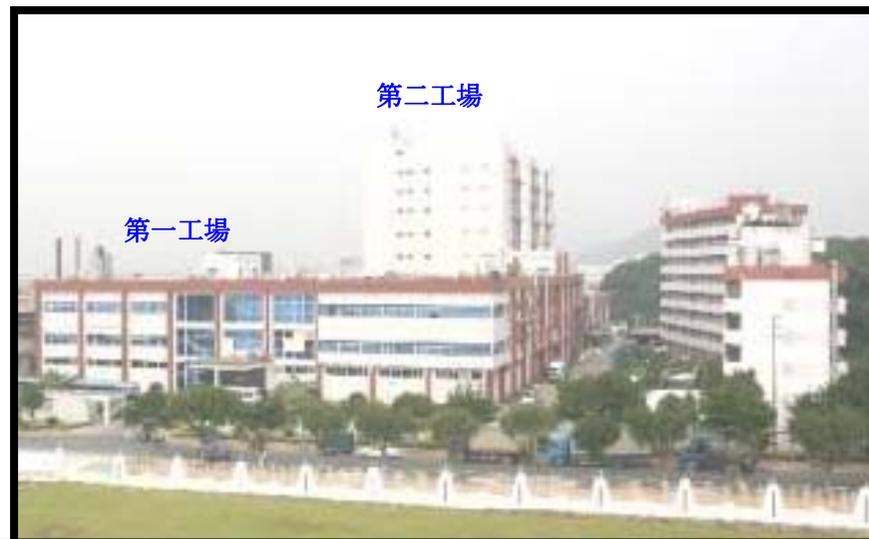
4-3 広州工場 来期計画

☆工場収益性改善

生産性改善、品質向上、L.T.短縮、在庫圧縮

☆一部の設備をベトナム工場へ移設

☆構造改革



4-4 ベトナム工場 直近状況

*スマートフォン用HDI基板

現在後工程生産から一貫生産に移行中

*車載用貫通基板

HDI基板にあわせて順次生産を開始する

*11月18日開所式を催す





株式会社メイコー

<http://www.meiko-elec.com/>

2011年11月24日